科目ナン	バリン	グ U-1	LAS06 200)32 SJ43								
授業科目名 					担当職名	当者所属 呂・氏名	人間	間・環境学研究科 教授 大黒 弘慈				
群	人文・社会科学科目群 分野(分類) 法				法・政	治・経	済(各	論)	使用言語	使用言語 日本語		
旧群	A群	単位数	2単位	週コマ数	1コマ		授業界	業形態 ゼミナール (対面授業		授業科目)		
開講年度・ 開講期	2024・後期 曜時限 月5			配当	配当学年 全回生		対象学	:生	全学向			

[授業の概要・目的]

経済学の境界領域に横たわる問題を拾い上げることで、経済学を相対化しながら、経済そのものの本質・原理を探る。

[到達目標]

資本主義の基礎的な仕組みを理解するとともに、通説を疑う姿勢を身に着ける。

[授業計画と内容]

資本主義システムは、経済的合理性のみにもとづく閉鎖体系ではなく、それを取り巻く社会的環境に開かれている。したがって、労働力・土地・貨幣といった境界領域の分析が不可欠である。とりわけ貨幣においては、経済と社会の矛盾が複雑なかたちで現れる。しかし経済学にとってなぜか貨幣は鬼門である。このゼミでは、貨幣を含め経済学の境界に横たわる諸問題を丹念に拾い上げ、経済学の正統を相対化しながら経済学原理への導入を図る。経済思想、社会思想を広く取り上げる前期のILASセミナー:経済思想を承け、後期においてはより理論的な問題を取り上げる。以下のような課題について、それぞれ2~3週授業をする予定である。あるいは年度に応じて2~3の課題を集中的に取り上げることがある。

- 1. 資本の統治と新自由主義的統治
- 2.現代の貧困と資本の過剰
- 3 . 宇野弘蔵の純粋資本主義論と方法の模写
- 4. 廣松渉の物象化論と価値形態論
- 5. 柄谷行人の交換様式論と交換過程論
- 6.グレーバーの負債論とオルタナティブ社会

(授業回数はフィードバックを含め全15回とする)

[履修要件]

前期「ILASセミナー:経済思想」を履修しておくことが望ましい。

[成績評価の方法・観点]

平常点評価50点、学期末レポート50点により、総合的に評価する。なお学期末レポートを提出しない場合は0点とする。

[教科書]

授業中に指示する

[参考書等]

(参考書)

マルクス 『資本論』(国民文庫) ISBN:978-4272802517 宇野弘蔵 『経済原論』(岩波書店) ISBN:978-4003415122

経済原論基礎ゼミナール (2)
大黒弘慈 『マルクスと贋金づくりたち:貨幣の価値を変えよ(理論篇)』(岩波書店)ISBN:978- 4000253215
その他、授業中に適宜紹介する。
[授業外学修(予習・復習)等]
『資本論』を各自読み進めることが望ましい。
[その他(オフィスアワー等)]